

東日本大震災に伴う災害派遣活動所感



3月12日から3月19日までの間、松島基地被害復旧第1次要員として災害派遣に出動しました。私自身、入隊して初めての災害派遣でしたので不安を感じつつ被災された方々の心境を考えながら松島基地に向け出発しました。

現地に着し、状況を確認したところ基地内や周辺道路は泥まみれで、道路上に車や流木などが津波に流されたままとなっており、ここが本当に平和な我が国なのかという感覚に襲われました。

この被害状況を見て、まず一番に自分に出来る事は何かという事を考え始めました。普段、私は人事係空士として屋内での業務が多く、現場での作業要領などは全く想像が付きませんでした。

私は現地到着後は積極的に指揮官の掌握下に入り、一緒に災害派遣に参加した先輩隊員の仕事を見て、分からない所は質問し、作業を実施するように心掛けました。

他部隊からの派遣隊員や松島基地の隊員も力を合わせて基地滑走路、基地機能復旧のため尽力した結果、被災から4日で滑走路が復旧し空輸により支援物資などが円滑に届くようになったのも、隊員が一丸となり作業した結果だと思えます。

この度の災害派遣で、非常に微力ではありますが被災者及び被災地域に貢献出来た事は自衛官としての誇りです。被災地域が一刻も早く復興できるよう心から願うとともに、今回の派遣任務で得た知識、経験を糧として日々精進していく所存です。